

No. 2 読書クイズ

- 本のタイトルや著者、本に出てくる登場人物や場所などをあてるクイズである。
- おはなしの世界をクイズで楽しむことによって、これまでに読んだ本を振り返り、新たに興味ある本と出会い、読書意欲が刺激されることが期待できる。
- クイズは問題用紙を作ってもいいし、口頭で問題をだしてもよい。
- 口頭では、隙間時間を利用して子どもたちの読書意欲を刺激することができる。とくに重要なのは、口頭でクイズを出して解答を知らせた後に、現物(その本)を見せて図書館のどこにあるか、ほかにどのような本(類似の内容、○○の出てる本など)があるかを紹介することである。
- 下記のは例に過ぎない。これをコピーして使っていただくのは大変嬉しいが、自校の蔵書や児童生徒の状況に対応しているかどうかを確認する。クイズだけをだすのではなく、読み聞かせのあとや本を数冊紹介した 1 週間後にクイズをするなど、読書活動とあわせてクイズを楽しんでください。
- 「推薦図書」や「必読図書」を定めている学校では、それらの本をもとに読書クイズを作成してほしい。児童生徒にぜひ読んでもらいたい本を使って問題を作成する。

*問題を作成するにあたって、以下の資料を参考にした。

- ・高橋元夫編著『コピーしてすぐ使える図書館クイズ』新樹社 1996
- ・高橋元夫編著『コピーしてすぐ使える図書館クイズ パート2』新樹社 1996
- ・「すぐに使える図書館クイズ」『小学図書館ニュース』指導用解説付録 2017.4.8～2019.1.8 号に連載 少年写真新聞社

*公共図書館や学校図書館で作成された図書館クイズが、印刷物や Web 上で発表されているので参考にしよう。

クイズの例

*【 】内は回答です

*問題の漢字表記、カタカナ表記などは児童生徒の年齢に合わせてお使いください。

1. おはなしの名前・本の題名 のクイズ

○三びきのやぎたちがやまへくきをたべにいこうとしますが、とちゅうのはしのしたにおそろしいtrolルがまちかまえていました。 【三びきのやぎのがらがらどん】

○まじめな兄のジャックと行動力のある妹・アニーが主人公。ふしぎなツリーハウスをつかって、いろいろな時代や場所を旅行するぼうけんファンタジーのシリーズです。 【『マジック・ツリーハウス』シリーズ】

○13 歳になったら魔女修行のためよその町に移り住み独り立ちするというきまりのため、少女キキは、満月の夜、黒ねこジジと共に、新たなまちを探して旅立ちます。 【魔女の宅急便】

○弟がはしかにかかったため、親せきにあずけられたトム。友だちもいなくて、なんだか夜もよく眠れません。そんな時、真夜中に古時計が 13 回もなるのをきき、ふしんに思ったトムは 1 かいに下りていきました。うら口の向こうに昼間はなかったはずの庭園が広がっているのを発見します。 【トムは真夜中の庭で】

2. 作者はだれ のクイズ

- 『おしゃべりなたまごやき』『ぼくは王さま』『おおきなちいさいぞう』 【寺村輝夫】
- 『かあちゃん取扱説明書』『糸子の体重計』『チキン!』 【いとうみく】
- 『かがみの孤城』『島はぼくらと』『サクラ咲く』 【辻村深月】
- 『神去なあなあ日常』『風が強く吹いている』『舟を編む』 【三浦しをん】

3. おはなしのないよう のクイズ

- 『11 ぴきのねこ』…ねこたちのリーダーの名前は何か。 【とらねこたいしょう】
- 『ブンダバー』…人間のことばを話せるネコのブンダバーは何色でしょうか 【黒色】
- 『レ・ミゼラブル』…ジャン・バルジャンは何をぬすんでろうやに入れられたのでしょうか。 【パン】
- 『ステップファザー・ステップ』…哲と直のところにどろぼうが落ちてきたのはなぜでしょうか。 【雷にうたれた】

4. 本の内容紹介を多くして、読んでいない子どもにも興味をもってもらおう クイズ

- 『からすのパンやさん』 からすのまちの「いずみがもり」のパンやさんに4わのあかちゃんが生まれました。その赤ちゃんの色は黒ではなく、なんと、白、黄、赤、茶の色をしたからすでした。それぞれの名前は何か。 【白はオモチちゃん、黄はレモンちゃん、赤はリンゴちゃん、茶はチョコちゃん】
- 『精霊の守り人』は上橋菜穂子作のファンタジーで、アニメ化やドラマ化されました。女用心棒の主人公は新ヨゴ国の皇子チャグムが川に転落したところを助けたことから、妃から「王子を連れて逃げてほしい」と頼まれます。皇子チャグムに精霊の卵が宿ったので、帝から暗殺されようとしていたのです。チャグムを連れて女用心棒は、帝の兵士や精霊の卵を食べる異世界の怪物と闘います。さて、この女用心棒の名前は何か。 【バルサ】
- 「親譲りの無鉄砲で小供のときから損ばかりしている。小学校にいる時分学校の二階から飛び降りて一週間ほど腰を抜かしたことがある。」で始まるのは夏目漱石の『坊っちゃん』という小説です。この主人公が旧制中学校の教師として赴任したのはどこでしょうか。 【四国 ※愛媛・松山も可】